

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2011.9.1

No.86

八月二十四日の夜から二十八日にかけて宮城県に教会の仲間七人でボランティア活動にいらしてきました。ワンボックスの車で夜間ほとんどノーストッブ。北陸道で新潟まで行き、磐越道で宮城県に入りました。

今回のボランティア活動は「国際飢餓対策機構」というNGO団体を通じて行いました。主に世

界中から飢餓をなくしていこうスローガンを掲げて活動してはいますが、今回の地震・津波の被害に関して緊急支援活動を行うために、震災三日後には仙台にベースキャンプを作って活動してきたというキリスト教団体です。

私たちが行った活動は、まず亘理(わたり)町での家屋の修復です。町の七十%近くが被害を受けました。大きな物が流れてぶつかった家屋はダメージがひどいようです。私たちが携わった家屋は、二mほどの水に数日間浸かってしまったのですが、大きな物がぶつかっていなかったもので修復して使うことになったのです。骨組みにするために、内壁をはがしたり、床板を取ったりしました。

私は海岸近くに移動して、漁師さんたちの網のごみ取りをしました。Mという社長さんは船を百隻近くもっていましたが、残ったのは二隻

東北地方へボランティア



↑壁をはずしているところです。かなりの力が必要！

だけだったそうです。網もほとんど流されました。自衛隊等のお陰で流された網は一か所に集められ、印をつけていた網をそこから取り出して再生しようというのです。まず、広げて乾かし、ごみを取り、繕っていきます。繕うのはよほどの熟練が必要ということで、私たちは網をきれいにするのみです。網一つで一千万円もするそうです。

ベースキャンプは仙台YWCAを間借りしている

ので風呂施設がありません。活動の帰りに銭湯に寄って汗を流し。疲れを取ります。一日の活動の報告をしあい、次の日の分担を行いました。

二日目は、二手に分かれ、私たちは石巻市に向かいました。この町もまだまだ被害の爪痕を多く残り、中心街でも停電しており、警察官が交通整理をしていました。私たちは「日の出館」という仕出し屋に行き、調理器具を洗う作業を行いました。ここも二mを越える浸水で、水が引いた後二階は泥まみれです。厨房が全壊しましたが、建物が残ったので、

できればもう一度営業を再開したいとの思いがあり、応援することになったのです。

二日間とも現地の方とお話することができました。現地の方が差し入れをしてくれて、しきりに休憩して！と言うのです。話は自然と三月十一日のことになりました。目の前で流されていった人を助けることができなかつたことを悔やむ思い、近くのおばあさんが家ごと流されて亡くなったことなど胸が痛くなる話もありましたが、全体的には前向きに生きて行こうという意気込みが伝わってくるお話でした。

三日目は再び亘理町に行き、もう一件の家屋の改修を手伝いました。新たに内装をするために、今残っている天井等を取り除くのです。マレーシアから来ていた若いボランティアの人たちの活躍で作業はどんどん進みました。次の日から泥出し作業ができるように手筈を整えたのです。

もう一つのグループは倉庫の整理をしました。世界から送られてきた援助物資を展示して必要なものを持って帰ってもらうものです。

今回のボランティアを通じて、この災害がなければ、あり得なかつた出会いを経験しました。これまでの活動を通じて、初めてクリスチャンとじっくり話をしたという人が多いことも聞いています。私たちができることは本当にわずかで、限られています。創造主の思いを教えられてお手伝いさせていただきたいと思っています。人間でもこれほど痛み、苦しみ、希望を抱き、前進しようと思うのならば、私たちが造られた神の思いははるかに深いものに違いないからです。

日曜学校キャンプ

R

八月の初めに、私は、日曜学校のキャンプに行きました。日曜学校最後のキャンプでした。信太山で行きました。電車に乗ったのは短かったけど、駅から三十分くらい歩きました。雨も降ってすごく坂が多くて大変でした。

一日目の昼食は野外炊飯で、煮込みラーメンをみんなで作りました。みんなで作って、みんなで食べるとおいしかったです。飯ごう炊飯もしました。男の先生がしてくれました。おこげがあっけおしいかったです。

体育館でも、たくさん遊びました。ドッチボールやバレーボールをしました。私はフラフープが一番楽しかったです。

メッセージは三回ありました。三回とも本当にわかりやすかったです。イエス様の十字架のたとえ話がよく印象的でした。

本当は行はずだったキャンプファイヤーが雨で中止になりました。だから施設の人にろうそくがついている小さな木を借りて、キャンドルファイヤーをしました。みんなで歌ったり、ゲームをしたりしました。できるかなと思っていた花火はその時は雨がやんだのでできました。いろんな種類の花火を先生が用意してくださっていました。

線香花火はすぐ落ちたけれども小さくてかわいかったです。

楽しさいっぱいの日曜学校最後のキャンプでした。来年はバイブルサークルのキャンプに行きます。楽しみです。



↑親子現場見学会でヘルメット姿!

こんなことしました! 行事報告

八月

- 一日 MindstormNEXT を利用した
- 五日 3D (3次元) やつてできるの? 3D を体験・作成してみよう (阪南大)
- 五〜六日 日曜学校キャンプ (信太山)
- 十一日 親子現場見学会 (津波高潮ステーション・阪神高速道路)
- 十〜十三日 BC バイブルキャンプ (天の橋立)
- 二十日 日曜学校・高学年でプールへ (浜寺プール) ジュニア・オープンカレッジ
- 「川の未来をデザインしよう」 大和川の過去・現在・未来 (阪南大)
- 二十二日 K 兄 M 姉来訪
- 二十三日 塗り絵・絵画教室
- 「ヒザを焼いて絵葉書を描こう」
- 二十四〜二十八日 仙台台ボランティア活動 (K と N)
- 二十六〜二十七日 S さんお泊り
- 二十七日 J クラブ「川あそびに行こう」 (滝畑ダム)
- 三十日 パン工場見学ツアー (コープこうべ)
- 音楽の集い (JC にて)

今年の夏休み

H

私は今年、受験生です。だから、夏休みといっても今年は勉強の毎日です。高二の頃は、兄の必死な受験勉強の様子を見ながら、「受験なんてまだまだだから大丈夫!」という思いが心のどこかであり、真面目に勉強してなかったもので、特に苦手だった英語は高二の一年間、ほとんどやりませんでした。どこかの学校を受けるにしても英語は必須科目だということが分かっていても、どこからどうやって手をつけていけばいいのかわからず、後回しにしてしまい、全然進んでいませんでした。

しかし、この夏休みに予備校の夏期講習で英語の授業を受けて、苦手意識がすっかり解消されました。この講習はとつても分かりやすく、内容も私にとつて本当にぴったりなものだったので、やつと英語を勉強することの面白さに気付いたように思います。もつと早く気付いておけば良かったのに...と今はつくづく思いますが、今さら、後悔しても意味がないので、これからは一生懸命勉強していきます。

試験のことを考えると不安ばかりが出てくるし、プレッシャーもいっぱいあります。でも勉強できる環境に置かれていることは感謝なことだと思ひ、今このように勉強できることがとてもうれしいです。時には勉強が苦痛に思えることもあるし、やつぱり試験なんて受けたくないと思うけど、勉強することはとても楽しいです!!

「あなたのしようとすることを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画はゆるがない。」 (箴言十六章三節)

神様に祈りつつ進路のことも決めていき、そして神様のみこころの進路に進んでいきたいです。あと残されている期間は四カ月。与えられているこの一日一日を大切に使うって勉強に励んでいきたいと思ひます。

編集後記

節電が叫ばれた今夏。うちの電気代も一〇%削減できました。昨年より暑さも少し減ったとは言え、なかなか大変でした。秋の気配も感じホットしています。